

2019年8月5日

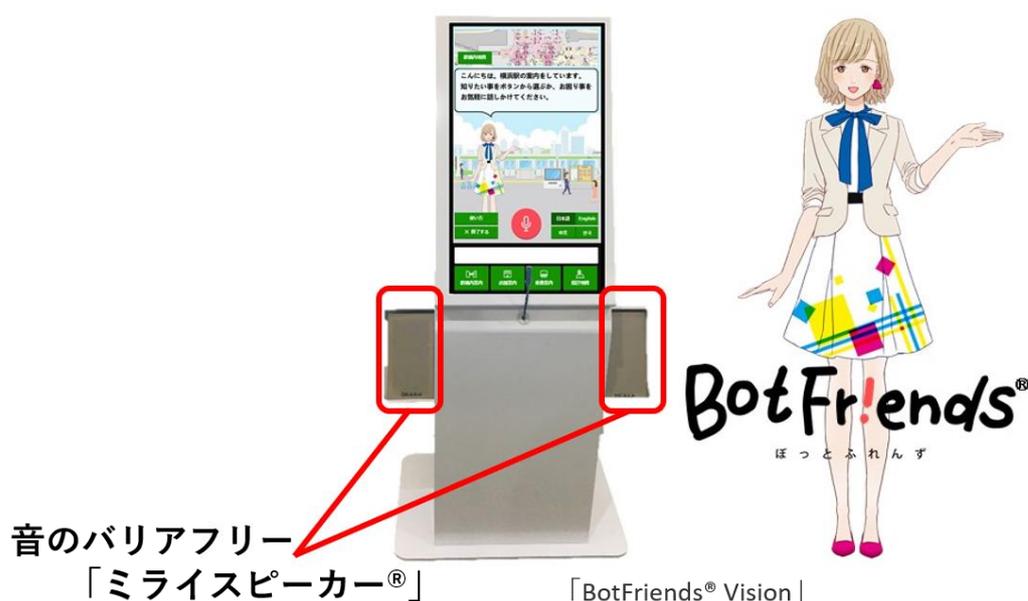
株式会社 サウンドファン

世界初の特許技術『曲面サウンド』で
音のバリアフリーを実現する「ミライスピーカー®」、
凸版印刷の多言語 AI サイネージ「BotFriends® Vision」に採用
～JR 東日本「モビリティ変革コンソーシアム」の実証実験に参加～

株式会社サウンドファン（所在地：東京都台東区、代表取締役社長：山地浩、以下：サウンドファン）が製造・販売する、音のバリアフリーを実現する「ミライスピーカー®」が、凸版印刷株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：磨秀晴、以下：凸版印刷）の多言語 AI サイネージ「BotFriends® Vision（ぼっとふれんず ビジョン）」搭載スピーカーとして採用されました。

採用機種は「ミライスピーカー・ボクシー2」です。2019年8月5日～2019年11月10日にJR 横浜駅に設置され、コミュニケーション AI とバーチャルキャラクターを通じた遠隔案内の有用性検証を実施します。

なお本実証実験は、凸版印刷が参画する東日本旅客鉄道株式会社（以下：JR 東日本）設立の「モビリティ変革コンソーシアム※」における「案内 AI みんなで育てようプロジェクト（フェーズ2）」共同実証実験の一環として実施されます。



◆【多言語 AI サイネージ「BotFriends® Vision (ぼっとふれんず ビジョン)」】とは

凸版印刷が開発した、チャットボット搭載のデジタルサイネージとバーチャルキャラクターを活用した遠隔対話機能を組み合わせた多言語 AI サイネージです。「欲しい情報」を話しかけるだけで「その人に最適な情報」を提供してくれるコンシェルジュのような多言語デジタルアシスタントです。「BotFriends® Vision (ぼっとふれんず ビジョン)」に、音のバリアフリースピーカー「ミライスピーカー®」を搭載することで、高齢者や大勢の人混みの中でもクリアな音で案内が可能となります。

◆モビリティ変革コンソーシアム主催【案内 AI みんなで育てようプロジェクト(フェーズ 2)】共同実証実験について

・実施期間：2019年8月5日(月)～2019年11月10日(日)

・実施場所：東京駅、浜松町駅、品川駅、新宿駅、池袋駅、上野駅、横浜駅(JR 東日本)、羽田空港国際線ビル駅(東京モノレール)合計8駅等 32箇所

・目的：

山手線内の複数のターミナル駅を中心に、駅および商業施設(駅ビル、エキナカなど)に案内ロボットやデジタルサイネージを設置し、駅構内や駅周辺の案内のほか、お土産案内等を行います。昨年度の取り組みを踏まえ、設置箇所の見直し、既存の外部情報サービスとの連携拡大や多言語化を前提とするなど、より効率的かつ実用的な案内 AI システムの構築を目指します。

また、実証実験期間中は「ラグビーワールドカップ 2019™日本大会」開催期間(2019年9月20日から2019年11月2日)と重なること、さらには1年後の「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催期間を想定するなど、より訪日外国人旅行者を意識した実証実験に取り組みます。

※モビリティ変革コンソーシアム

交通事業者や国内外のメーカー、大学・研究機関、行政機関など、多くの関係者が参画し、様々な社会課題の解決や次代の公共交通について、オープンイノベーションでモビリティ変革を実現する場として JR 東日本が設立。

◆今後の展開

サウンドファンは、資本業務提携をしている凸版印刷及び株式会社トッパン・コスモと連携して、JR 東日本が設立した「モビリティ変革コンソーシアム」の活動を支援し、コミュニケーション AI による駅および商業施設における案内業務の有用性検証を、「聴こえ」の側面から貢献していきます。

(参考)下記2社のプレスリリースを参照させて頂いています。

・凸版印刷株式会社様のプレスリリース「凸版印刷、横浜駅の案内業務に AI を活用」

https://www.toppan.co.jp/news/2019/06/newsrelease190618_1.html

・東日本旅客鉄道株式会社 JR 東日本ニュース「案内 AI みんなで育てようプロジェクト(フェーズ2)」共同実証実験について」

https://www.jreast.co.jp/press/2019/tokyo/20190618_to01.pdf

<注>

- ・本プレスリリースに記載された商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。
- ・本プレスリリースに記載された内容は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

■Appendix

<「ミライスピーカー®」について>

サウンドファンが独自に開発した世界初の特許技術「ミライスピーカー®」の曲面振動板スピーカーは、100年以上変わらない従来の空気を押し出すコーン型スピーカーとは異なり、湾曲させた振動板全体から音が飛び出す構造により、広い範囲に特殊なエネルギーのある音を生成することができます。

その音である『曲面サウンド』は、聴こえにくい方をサポートすることができ、さらに、広く・遠くまでハッキリと音声を届けることができ、誰にとっても聴こえやすい音のバリアフリー環境を実現することができます。*

※「聴こえ」には個人差があります。



MIRAI SPEAKER

【ミライスピーカー®】

日本特許第 5668233 号及び
他登録済特許あり

◇ 音の情報がうまく聞き取れない、伝わらない…「聴こえ」の問題を「音」のまま解決

日本人の約 9 人に 1 人は、毎日の暮らしのなかで「聴こえにくい」困難を抱えています*。2016 年 4 月には障害者差別解消法が施行され、バリアフリーへの対応が官民ともに急がれております。「聴こえ」に不安をお持ちの方に対して、ミライスピーカー®を活用した「音のバリアフリー」社会をひろめることで、「音」による情報を「音」のまま伝えることが可能となり、特に災害時や緊急時に有効であると考えます。

※ 出典：一般社団法人 日本補聴器工業会 JapanTrak 2018 調査報告 Page4、Page14

<「ミライスピーカー®」導入事例>

銀行証券など金融機関、区役所など公共機関、医療機関、老人ホーム、教育機関、教会・寺院、一般企業、高齢者のご家庭など、音による情報を明瞭にお届けしたいシーンでの活用が進んでいます。

◇ 導入実績



[野村証券 セミナールーム]

野村証券 全国 97 支店セミナールームに導入。首都圏のある支店で開催した 5 回のセミナーで「ミライスピーカー®」を試験的に使用(既存のスピーカーは使わず、「ミライスピーカー®」のみ 1 台設置)。アンケートの結果として 51% の方から「いつもよりよく聞こえた」という回答をいただきました。



【日本航空 JAL カウンター】

電源が無い場所でも自由に活用でき、ワイヤレスマイクにも対応した新モデル「ミライスピーカー®・モビィ(Moby)」が、国内 13 空港に導入されました。大型連休中も問題なく稼働し、お客様へ必要な情報をお伝えするツールとして活躍しています。

◇ 会社概要

会社名：株式会社サウンドファン

本社：東京都台東区浅草橋 1-32-6 コスモス浅草橋酒井ビル 4F

設立：2013 年 10 月 7 日

代表取締役社長：山地 浩

資本金：100,000,000 円（資本準備金含む：200,000,000 円）

URL：<https://soundfun.co.jp/>

事業内容：

音のバリアフリーを実現する「ミライスピーカー®」の開発・製造・販売・個人向けレンタル
-個人向け：「ミライスピーカー®」サブスクリプションサービスの提供（月額定額課金）及び販売
-法人向け：各種「ミライスピーカー®」の販売

【本件に関する問合せ先】

株式会社サウンドファン コミュニケーション戦略部

〒111-0053 東京都台東区浅草橋 1-32-6 コスモス浅草橋酒井ビル 4F

TEL:03-5825-4749 FAX:03-5825-4794/e-mail:pr.mirai@soundfun.co.jp